

第4章 医療の状況

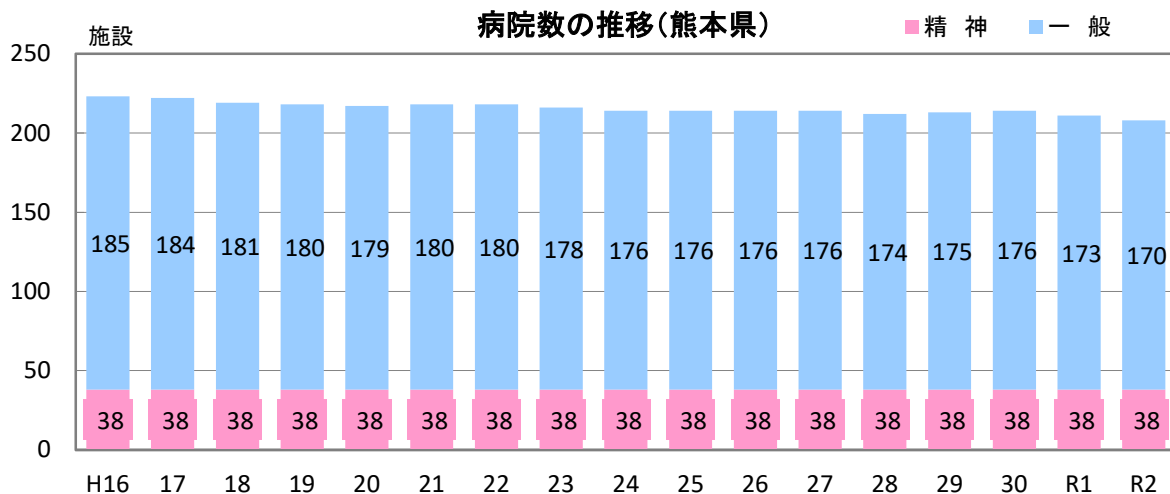
1. 医療施設

(1) 病院及び歯科診療所の施設数は減少、一般診療所の施設数は増加

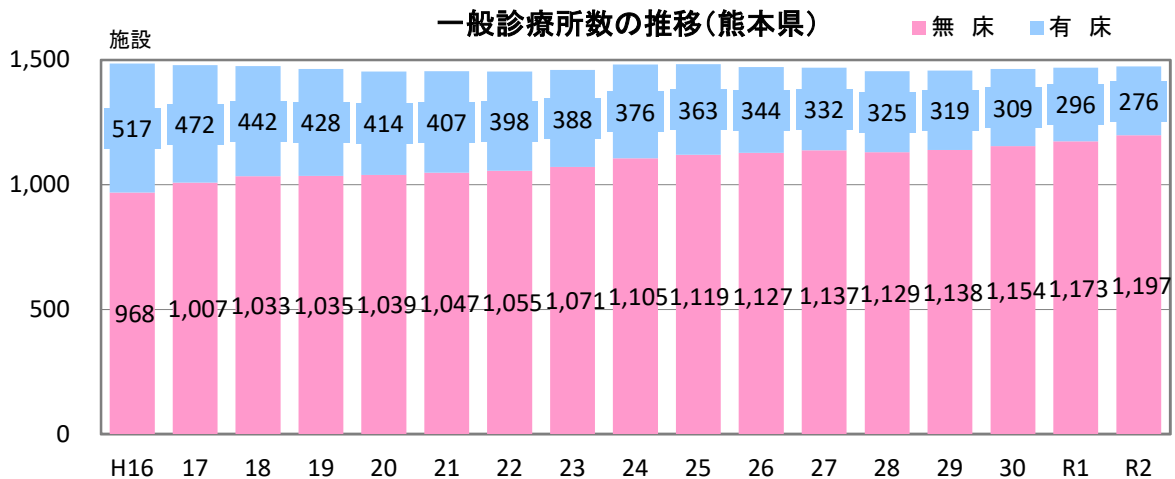
令和2年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,519施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から6施設減少した。

病院は208施設で、前年から3施設の減少。一般診療所は1,473施設で、前年より4施設増加している。その中で有床診療所(276施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,197施設)は増加傾向であり、今回は24施設の増加となった。歯科診療所は838施設で、前年より7施設の減であった。

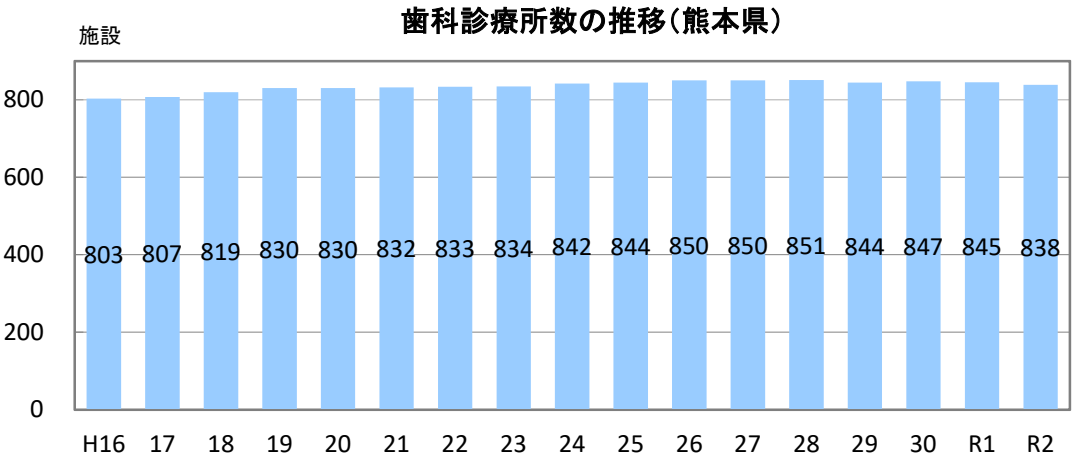
人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が159施設(病院数の76.4%)と最も多く、次いで「公的機関」が23施設(11.1%)である。一般診療所は、「医療法人」が788施設(一般診療所数の53.5%)と最も多く、次いで「個人」が393施設(26.7%)となっている。歯科診療所は、「個人」が596施設(歯科診療所数の71.1%)と最も多く、次いで「医療法人」が238施設(28.4%)となっている。



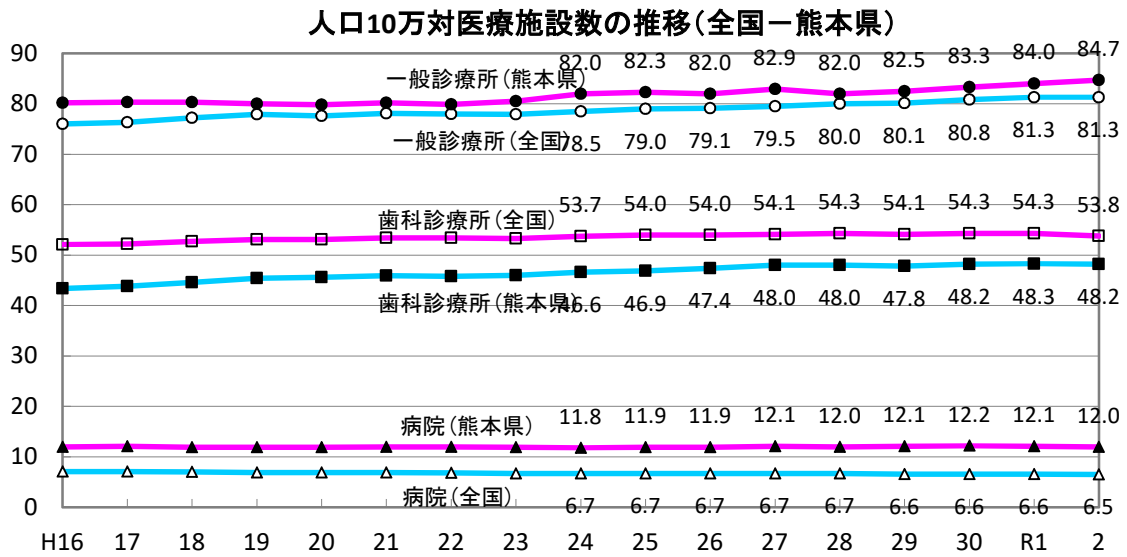
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



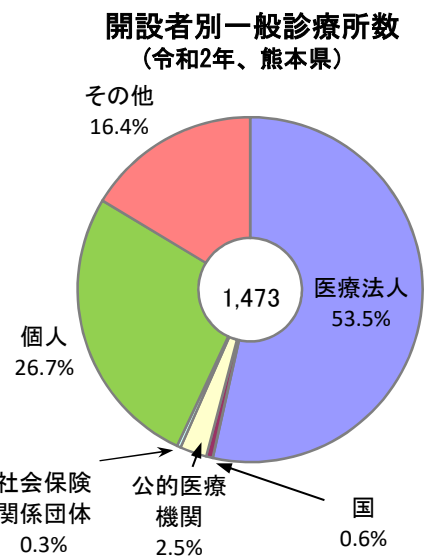
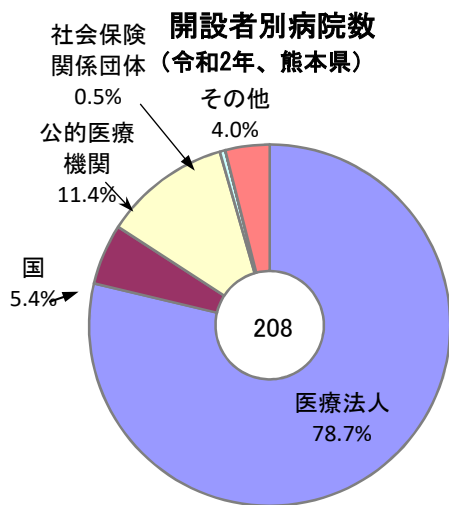
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



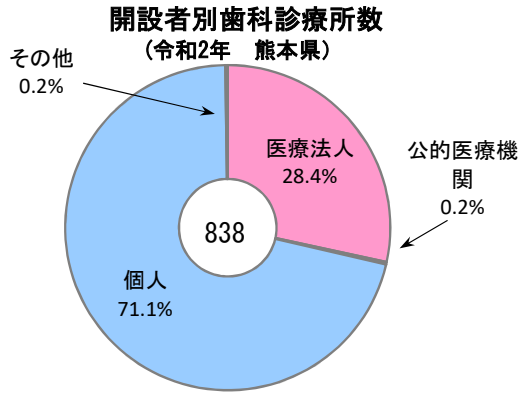
資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

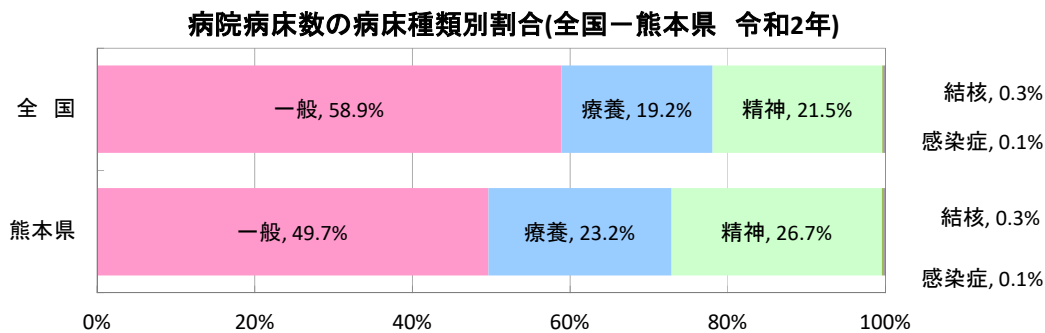
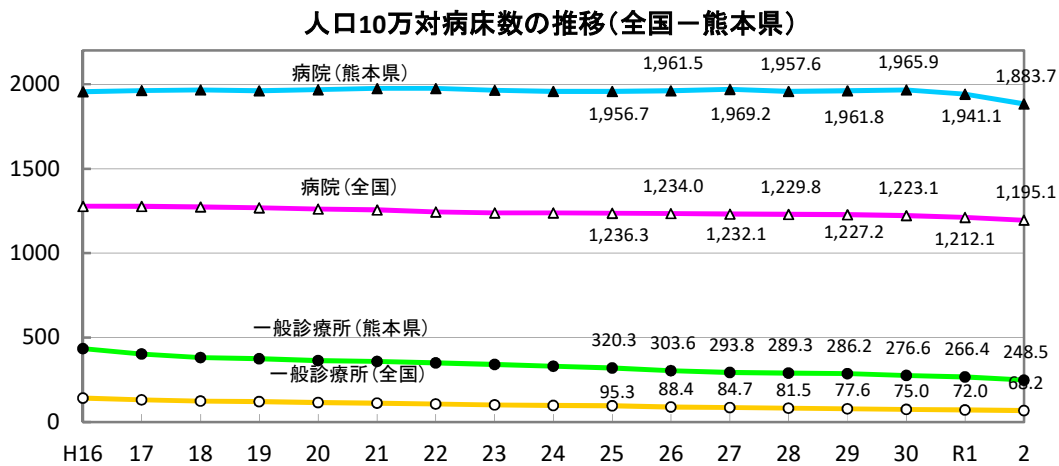


資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(2) 病院及び一般診療所の病床数は、減少

令和2年10月1日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が[※]1,883.7床(精神病床 502.7床、感染症病床 2.5床、結核病床 5.8床、療養病床 437.3床、一般病床935.4床)、一般診療所が248.5床、歯科診療所が0床であった。

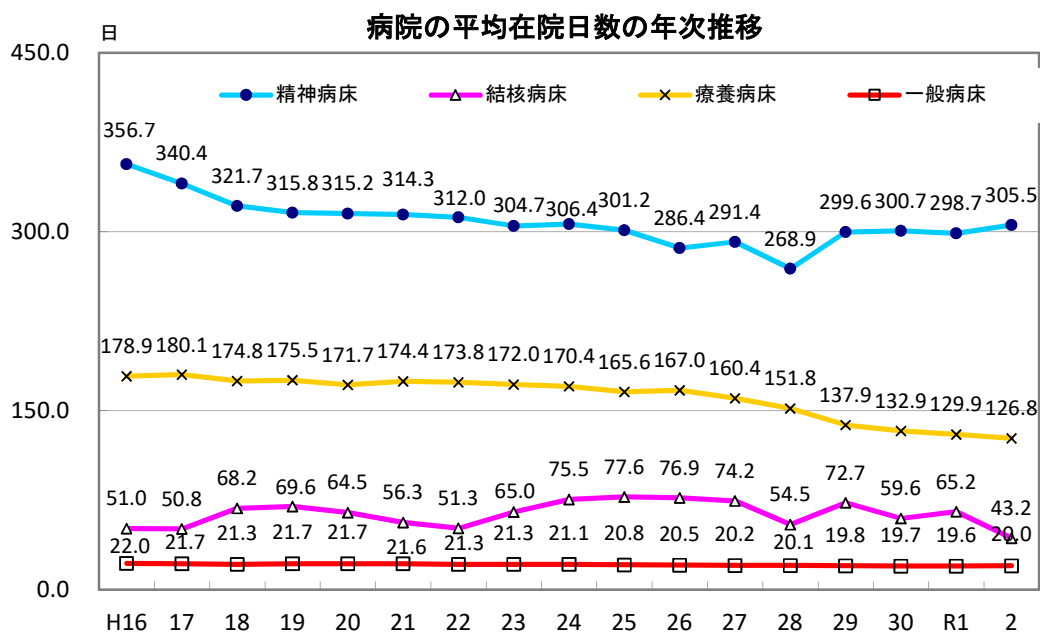
病床数は、病院で前年に比べ57.4床(人口10万対病床数)減少し、一般診療所においては前年より17.9床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数も減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(3) 病院の平均在院日数は、結核・療養病床で減、精神・一般病床で増

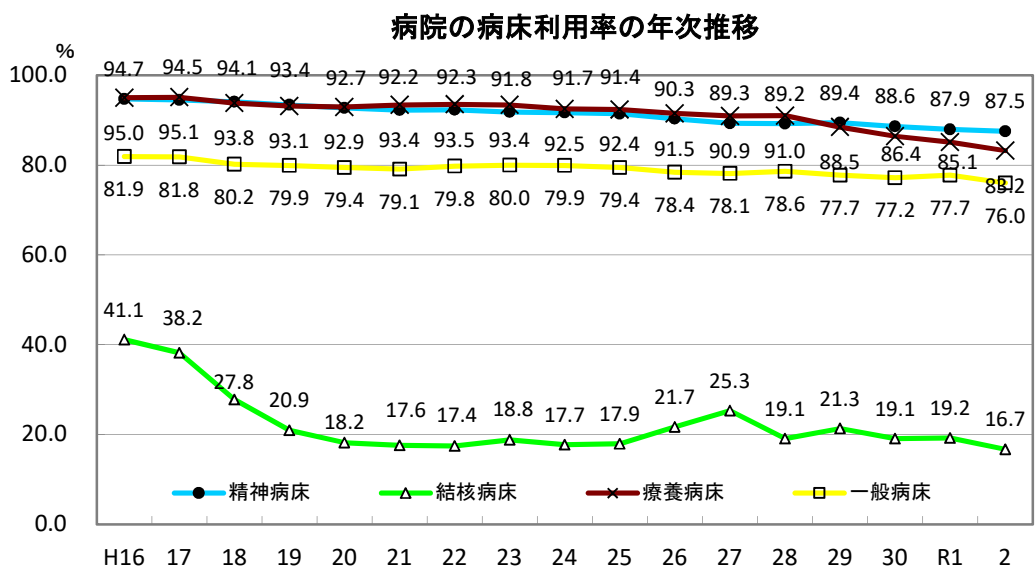
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で6.8日増加、結核病床で22.0日減少し、療養病床で3.1日減少、一般病床で0.4日増加している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(4) 各病床の病床利用率は、すべての病床で減少

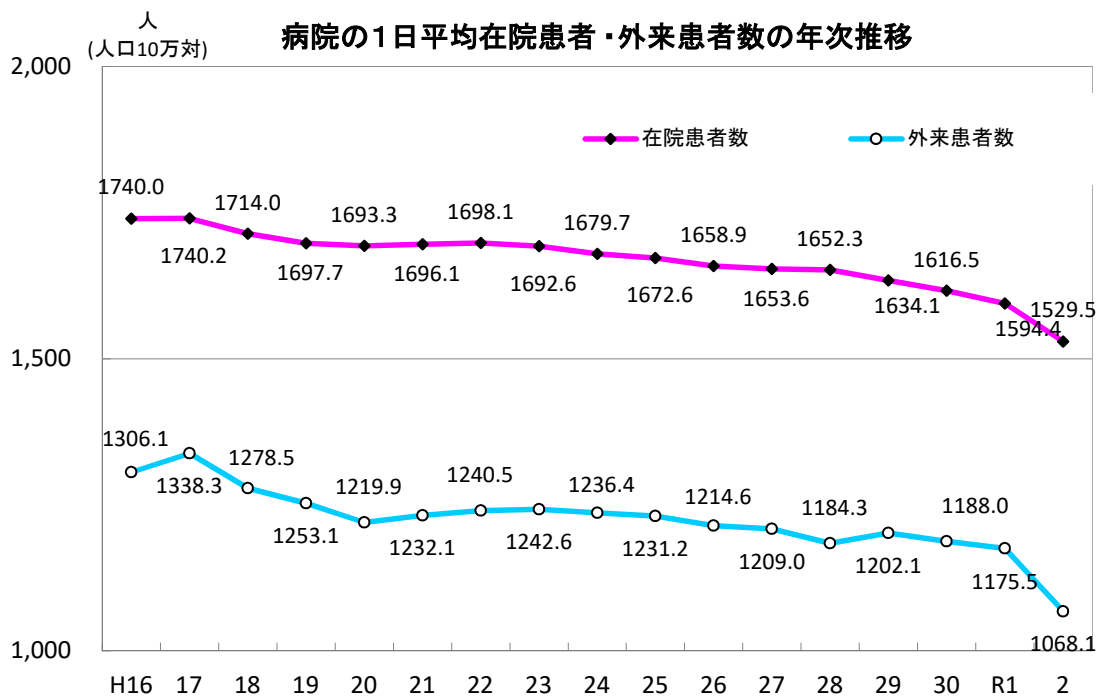
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で0.4ポイント減少、結核病床で2.5ポイント減少、療養病床で1.9ポイント減少、一般病床で1.7ポイント減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(5) 病院の1日平均在院患者数、外来患者数ともに減少

病院における令和2年の人口10万対1日平均在院患者数は1,529.5人で、前年に比べ64.9人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,068.1人で、前年に比べ107.4人減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」